



2014年 JSID's Fellowship SHISEIDO Award (資生堂賞) 受賞者ご紹介

2014年JSID's Fellowship SHISEIDO Award受賞者2名の先生をご紹介いたします
(五十音順)。

本Award授与式は、日本研究皮膚科学会第39回年次学術大会・総会(大阪)にて開催します
(2014年12月12日(金)15:05~15:25、ホテル阪急エキスポパーク RoomA(オービットホール))
本研究のご成果については、日本研究皮膚科学会年次学術大会にてポスター発表していただく予定です。

ご 芳 名：乃村 俊史 先生 / Toshifumi Nomura, M.D., Ph.D.

ご 所 属：北海道大学大学院皮膚科学
Department of Dermatology, Hokkaido University
Graduate School of Medicine

研究テーマ：ノンコーディングRNAによる角化制御機構の解明
Comprehensive analysis of long non-coding RNAs in
keratinization.



ご 略 歴：2002年 3月 北海道大学医学部医学科卒業
2002年 5月 北海道大学医学部附属病院研修医
2004年 4月 市立釧路総合病院皮膚科医員
2005年 4月 北海道大学病院皮膚科医員
2006年 4月 北海道大学大学院医学研究科皮膚科学分野博士課程入学
2008年 2月 英国ダンディー大学人類遺伝学分野(現：分子医学分野)留学
2009年 3月 北海道大学大学院医学研究科皮膚科学分野博士課程短縮修了
2010年 9月 北海道大学病院助教

受賞のご感想：

この度はJSID's Fellowship SHISEIDO Awardという栄えある賞を賜り、誠にありがとうございます。
私はこれまで遺伝性角化症の遺伝子解析を中心に研究を行って参りましたが、皮膚で最も重要な角質の形成機構には依然として不明な点が多く残されております。特に、角化に際して角化関連遺伝子群が時間的にも空間的にも秩序立って発現する仕組みは未だに解明されておりません。今回の研究では、ノンコーディングRNAによる角化制御機構の解明を目指し、疾患発症メカニズムの解明や新規治療法の開発の基盤となる成果をあげることができるよう全力で努力致します。



2014年 JSID's Fellowship SHISEIDO Award (資生堂賞) 受賞者ご紹介

ご 芳 名：本田 哲也 先生 / Tetsuya Honda, M.D., Ph.D.

ご 所 属：京都大学大学院皮膚科学
Department of Dermatology, Kyoto University
Graduate School of Medicine



研究テーマ：抗炎症性脂質メディエーター Resolvin E1 の
皮膚免疫制御メカニズムの解析
The role of Resolvin E1, a lipid mediator derived from ω -3
polyunsaturated fatty acid, in cutaneous immune system

ご 略 歴：2000年 3月 京都大学医学部医学科卒業
2000年 5月 京都大学医学部附属病院皮膚科研修医
2001年 4月 島根県立中央病院皮膚科研修医
2002年 4月 大阪赤十字病院皮膚科医員
2003年 4月 京都大学大学院医学研究科博士課程入学
2007年 3月 同卒業
2007年 4月 京都大学医学部附属病院皮膚科助教
2010年 4月 米国国立衛生研究所 (laboratory of Immunology, NIAID, NIH)
visiting fellow
2012年 4月 京都大学大学院医学研究科次世代免疫制御を目指す創薬医学融合拠点
特定准教授 (皮膚科兼任)

受賞のご感想：

この度はJSID's Fellowship SHISEIDO Award を受賞させて頂き、大変光栄に存じます。資生堂及び選考委員の先生方、ご指導頂きました諸先生方に厚く御礼を申し上げます。私が大学院で研究をスタートしたときに初めて頂いたテーマが、脂質メディエーターの免疫系における役割の解析でした。脂質メディエーターは、様々な生命現象の微調整や、時として決定的な役割を果たしている、生体に必須の物質です。その作用メカニズムはまだ未解明の部分も多く、今後も愛着をもって研究に取り組みたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。